



Raise Up "Daido Spirit"



大同メタル工業株式会社

株主のみなさまへ

第115期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

証券コード 7245

CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結決算ハイライト(前年同四半期比)	1
営業のご報告	2
中期経営計画 Raise Up "Daido Spirit" (2018-2023)	3
2023年3月期 通期 業績予想	3
配当について	3
事業セグメント別概要(事業内容・売上高構成比)	4
TOPICS	5
決算の状況(連結)	7
業績の推移(連結)	8
企業情報	9
会社概要/役員	9
株式事項/グローバルネットワーク(主な拠点)	10
株主メモ	11
株式に関する諸手続のご案内	11
株主優待	11



代表取締役会長
兼最高経営責任者

判治誠吾



代表取締役社長
兼最高執行責任者

三代元之

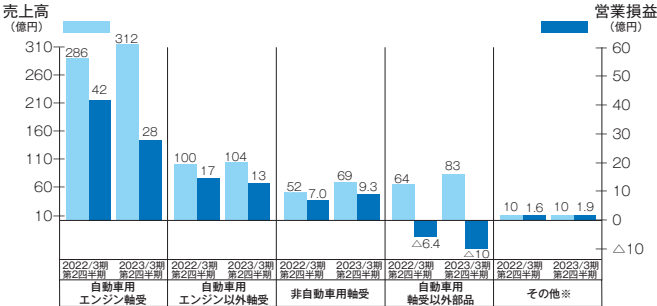
連結決算ハイライト(前年同四半期比)

1 2023年3月期第2四半期(累計) 決算概要

単位: 百万円 (百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入)

連結業績	【前期】 2022年3月期 第2四半期	【当期】 2023年3月期 第2四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率
売上高	50,315	56,944	6,629	13.2%
営業損益 (営業損益率)	2,677 (5.3%)	664 (1.2%)	△ 2,012 (△ 4.2%)	△ 75.2% -
経常損益 (経常損益率)	2,602 (5.2%)	941 (1.7%)	△ 1,661 (△ 3.5%)	△ 63.8% -
親会社株主に帰属する 四半期純損益 (純損益率)	1,188 (2.4%)	△ 2,475 (△ 4.3%)	△ 3,663 (△ 6.7%)	- -
為替レート (1 USドル / 円)	110.58	136.68	左記為替レートは 各期6月末TTMレート	
為替レート (1 ユーロ / 円)	131.58	142.67		

2 セグメント別情報 / 売上高・営業損益(セグメント間消去前)



※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート、不動産賃貸事業等を含んでおります。

3 セグメント別売上

◎増収要因 △減収要因 単位: 百万円 (百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入)

セグメント	売上高構成比 2023/3期 第2四半期	前年同四半期比 増減額 (増減率)	増減要因ポイント項目
自動車用エンジン軸受	53.8%	2,611 (9.1%)	△日本: 乗用車では底堅い需要はあるものの、半導体など供給不足の影響に起因するカーメーカーでの減産影響により受注微減 ◎日本: トラックでは半導体など供給不足の影響はあるものの需要は堅調に推移し、受注微増 △中国: ロックダウン及び物流混乱に加え、商用車は(大型トラック) 排ガス規制の影響による大幅な受注減
自動車用エンジン以外軸受	18.0%	442 (4.4%)	△日本: 乗用車関連では底堅い需要はあるものの、半導体など供給不足の影響に起因するカーメーカーでの減産影響により受注微減 △中国: ロックダウン及び物流混乱の影響による受注減 ◎北米: コロナからの回復により需要が底堅く推移した事による受注増
非自動車用軸受	12.0%	1,747 (33.5%)	◎船舶分野: 世界経済の回復に伴う海上荷動きの増加、メンテナンス需要の増加傾向に加えLNG 船(液化天然ガスを運ぶタンカー) 等、受注環境の好転や開拓による受注増 ◎建設機械分野他: 建設機械関連向けの組み付け・サービスパーツや発電機等の需要増加による受注増 ◎エネルギー分野: コロナ影響に伴い停滞していたプラント案件などが動き出したことによるガスタービン・蒸気タービン用軸受やメンテナンス部品の需要好調による受注増
自動車用軸受以外部品	14.4%	1,857 (28.7%)	△飯野グループ: 世界的な半導体供給不足などによる受注減 ◎アルミダイカスト製品: コロナからの回復及び電動自動車用の新規納入による受注増
その他	1.8%	△ 9 (△ 0.9%)	△金属系無潤滑軸受の在庫調整に伴う減収の影響があるものの、工作機械向け潤滑装置の需要は底堅く推移し、受注微減
セグメント間消去		△ 20	
全体合計:		6,629 (13.2%)	

4 セグメント別営業損益

◎増益要因 △減益要因 単位: 百万円 (百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入)

セグメント	前年同四半期比 増減額 (増減率)	増減要因ポイント項目
自動車用エンジン軸受	△ 1,454 (△ 34.0%)	△原材料やエネルギーコスト増に伴う影響
自動車用エンジン以外軸受	△ 376 (△ 22.0%)	△原材料やエネルギーコスト増に伴う影響
非自動車用軸受	235 (33.7%)	◎増収による影響
自動車用軸受以外部品	△ 390 (-)	△飯野グループ: 減収による影響 △アルミダイカスト製品: 電動自動車用部品の本格生産開始により増加したコストの改善遅れ及び新規受注品でのコスト増
その他	22 (13.2%)	◎売価への転嫁活動による価格改善の寄与
セグメント間消去	△ 49	
全体合計:	△ 2,012 (△ 75.2%)	

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに、2023年3月期第2四半期(累計)における営業の概要についてご報告を申しあげます。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、自動車関連産業においては本格的な生産の回復に至っていない状況から依然、厳しい状況にありますが、船舶、建設機械関連やエネルギー分野における堅調な需要の推移による売上の増加や為替の円安影響を受け、売上高は569億44百万円と前年同四半期比66億29百万円(+13.2%)の増収となりました。

利益面につきましては、営業利益は、前年同四半期比75.2%減益の6億64百万円となりました。また、経常利益は前年同四半期比63.8%減益の9億41百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は、当社の連結子会社であるDMキャスティングテクノロジー(タイ) Co., Ltd.の固定資産減損19億63百万円を計上した影響等に伴い、24億75百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益11億88百万円)となりました。

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、船舶・建設機械分野が好調に推移したこと及び為替レートが円安に推移していることなどから、売上高は前回公表した業績予想を上回る見込みとなりました。利益面は、原材料及びエネルギー価格の高騰が引き続き懸念されること等の影響により、前回公表した業績予想を下回る見通しとなったため、修正いたします。

前提為替レートにつきましては、2022年8月10日公表時点での1USドル/120円、1ユーロ/130円を、1USドル/135円、1ユーロ/135円に変更しております。

なお、2023年3月期の期末配当予想につきましては、原材料・エネルギー価格の高騰等の影響により当社国内外のグループ関連ビジネスも甚大な影響を受け、また、当社の連結子会社であるDMキャスティングテクノロジー(タイ) Co., Ltd.に係る減損損失(特別損失)を計上する等、当社グループの業績状況や今後の事業環境の先行きに不透明感が強いことを勘案し、「15円」から「未定」へと修正いたしました。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

Raise Up “Daido Spirit”

～Ambitious, Innovative, Challenging～

第1の柱 既存事業の磨き上げ“真のトライボロジーリーダーへ”

- ▶ マーケットシェアの拡大
- ▶ 利益体質の強化
- ▶ 生産革新・効率化、技術革新

第2の柱 新規事業の創出・育成“新たな事業の柱を築く”

- ▶ EV向けのアルミダイカスト製品の販売拡大
- ▶ 風力発電用特殊軸受事業等新規ビジネスの確立
- ▶ 新領域研究

中期経営計画の実行

当社は次の四本の柱を経営の重要な軸と位置付け、グループ一丸・全員参加で取り組んでおります。

※ “▶” は各柱に付随する目標を示しております。

第3の柱 強固な基盤の確立“経営基盤の整備”

- ▶ 連結経営管理の高度化
- ▶ グローバル品質保証・グローバル技術開発・グローバル生産体制の再構築
- ▶ グローバルガバナンス・グローバル人事制度の導入
- ▶ 財務基盤の強化

第4の柱 組織・コミュニケーションの活性化 “柔軟で活力のある組織・人”

- ▶ コミュニケーションの活性化
- ▶ チャレンジを支援する仕組み作り
- ▶ 活力ある組織作り・働き方改革

2023年3月期通期 業績予想

最近の業績の動向等を踏まえ、2023年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

連結	前年実績 / 予想 (百万円)			
	2022/3 期 (実績)	2023/3 期 (予想)	増減額	増減率
売上高	104,024	110,000	+ 5,976	+ 5.7%
営業利益 (同利益率)	5,042 (4.8%)	1,800 (1.6%)	△ 3,242	△ 64.3%
経常利益 (同利益率)	4,836 (4.6%)	2,000 (1.8%)	△ 2,836	△ 58.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (同利益率)	1,897 (1.8%)	△ 2,100 (△ 1.9%)	△ 3,997	—

※当期想定為替レート：135 円 / 米ドル、135 円 / ユーロ

配当について

当期の中間配当につきましては、2022年5月13日公表の予想値どおり、「1株当たり10円」とさせていただきます。

なお、2023年3月期の期末配当予想につきましては、「15円」から「未定」へと修正いたしました。

	【前期】 2022年3月期	【当期】 2023年3月期
中間	10 円	10 円
期末	15 円	未定
年間配当	25 円	—
配当性向	61.4%	—

事業セグメント別概要（事業内容・売上高構成比）

自動車用エンジン軸受

■事業内容

自動車（乗用車・トラック・レーシングカー）エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機（ターボチャージャー・バルancer機構、インジェクションポンプ）用軸受など。

〈主な製品〉



▲半割メタル



▲スラストワッシャー



▲ターボチャージャー用ベアリング

自動車用エンジン以外軸受

■事業内容

自動車部品（トランスミッション、ショックアブソーバー、空調用コンプレッサー、ステアリング等）用軸受など。

〈主な製品〉



▲ショックアブソーバー用ブッシュ



▲スターター用ブッシュ



▲射出成型軸受

非自動車用軸受

■事業内容

船舶ディーゼルエンジン用軸受、発電（水車・タービン等）用軸受、産業用（コンプレッサー・増減速機等）軸受など。

〈主な製品〉

大型船舶用軸受



▲低速ディーゼルエンジン用軸受

建設機械・中小型船舶用軸受



▲中高速ディーゼルエンジン用軸受

発電用軸受



▲特殊軸受（タービン用など）

一般産業用軸受



▲ドライベアリング

自動車用軸受以外部品

■事業内容

自動車用アルミダイカスト製品、曲げパイプ、ノックピン、NC切削品など。

〈主な製品〉



▲PCU ケース



▲パイプ成型加工品



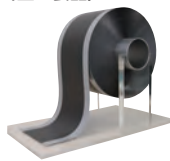
▲切削加工品

その他

■事業内容

電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受、食品・飲料・化粧品等用のロータリーポンプ、工作機械用集中潤滑装置、吸音板（カルム）など。

〈主な製品〉



▲電気二重層キャパシタ用電極シート

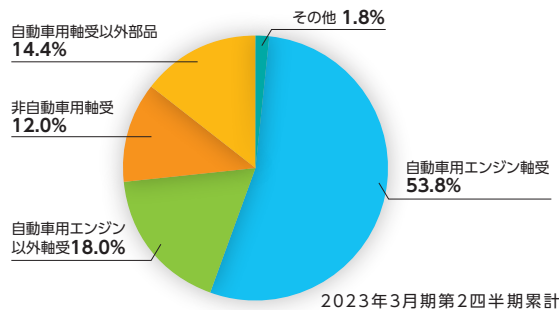


▲ロータリーポンプ



▲集中潤滑装置（MR-LUB）

売上高構成比（外部売上比率）



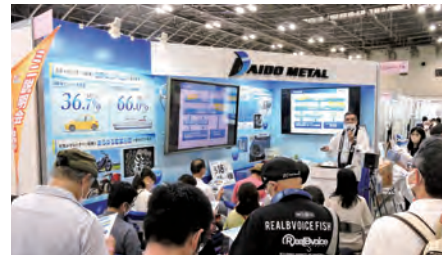
名証IR2022に出展

名古屋市の吹上ホールにて開催された「名証IRエキスポ2022」へ出展いたしました。

当社ブースでは、ミニ説明会の開催とブースツアーの受け入れで、2日間で合計18回の会社説明を行い、271名の方にお越しいただき、盛況のうちに終えることができました。

個人投資家の方々からは、当社の事業内容や強み、業績や株価の状況についてなど、様々な質問やご意見をいただきました。

今後も、個人投資家の方々とは顔を合わせてご説明ができる貴重な機会を大切に、当社をより詳しく・正しく知っていただけるよう、IR活動に努めてまいります。



風力発電機用すべり軸受PR動画をリリース

洋上風力発電機用軸受の国内外の積極的な市場開拓に取り組むためPR動画をリリースしました。「パーツだけの取り換えが可能で時間・コストの低減が可能」という当社のすべり軸受のメリットをわかりやすく紹介しています。ぜひご覧ください。



TCFDによる提言への賛同を表明



2022年6月に、カーボンニュートラル方針の策定とTCFD提言への賛同を表明しました。また、このカーボンニュートラル方針とTCFDの提言に沿った気候変動に関する重要情報はウェブサイトを通じて公開(開示)しました。

※TCFD:「気候変動問題に対して企業がどう取り組むのか」という情報の開示を促すために発足された世界的なプロジェクトチームのこと。

QCサークル活動で2つの賞を受賞

当社代表の犬山工場ターボサークルが、QCサークル活動(小集団改善活動)において、2つの名誉ある賞をいただきました。

2022年5月 一般財団法人日本科学技術連盟主催
「QCサークル石川 馨賞 奨励賞」受賞

「QCサークル石川 馨賞 奨励賞」とは

QCサークル活動の活性化と水準向上に寄与することを目的として、特色ある活動を進め、QCサークル活動の普及・発展と活性化に貢献したサークルに贈られる賞です。



2022年6月 一般社団法人中部品質管理協会主催
2022年度中部品質管理大会「西堀賞」受賞
「西堀賞」とは

日本の品質管理の先駆者としてご活躍になり、中部地区の品質管理の発展にも多大なご尽力をされた、故西堀栄三郎博士の功績を記念して1960年に設置された賞で、西堀博士の独創性をもったアイデアや先駆的な業績に因んで、特に独創性とリーダーシップの面で優れた発表に授与されるものです。





詳細は、コーポレートレポート
2022をご覧ください。

マテリアリティ(重要課題)の特定

Step
1

課題抽出

当社グループ方針・経営計画・リスク課題・SDGs・ISO 26000・GRIスタンダード・ESG調査・他社ベンチマークなどから、経済、環境、社会に大きな影響を与える当社グループの課題を84項目抽出しました。

Step
2

課題の評価①

抽出した課題について、当社グループにとっての重要度を、経営理念や中期経営計画などの方針や事業戦略を勘案し、関連部門の部門長へのヒアリング及び関連部会との議論により評価を実施し、19項目を重要課題候補としました。

Step
3

課題の評価②

ステークホルダーにとっての影響度を、国際規範や主要ガイドンス、他社の重要課題などから分析、ステークホルダーからの要請を把握したうえで、関連部会との議論により評価を実施しました。

Step
4

優先的に取り組む課題の特定

課題の評価により、10項目の重要課題を特定。妥当性評価として、社外取締役、社外監査役によるレビューを実施、サステナビリティ委員会及び取締役会の決議を経て、マテリアリティを特定しました。

	マテリアリティ	貢献するSDGs	目標 (KPI)	2021年度の実績
E 環境	環境貢献型製品の開発・製造	7 経済の持続可能な発展 12 持続可能な消費と生産	①次世代風力発電向けすべり軸受開発:試作品納入 ②カーボンリサイクルによって生産された燃料を使用した内燃機向け軸受の提供 (ex.水素・バイオ燃料エンジン他) ③DF*タイプエンジン軸受の受注活動の継続実施 *デュアルフューエルエンジン:環境負荷低減のため、液体燃料とガス燃料双方を切り替えて運転可能なエンジン	評価用すべり軸受試作品の納入 レース用の水素エンジンに当社すべり軸受が採用 受注実績:計54台
	気候変動への対応	13 気候変動に具体的な対策を	①エネルギー単位の削減(CO ₂ 原単位): (2022年度)2013年度比 △9%(単体)	目標:2013年度比 △8%(単体) 実績:△8.1%【469.96g・CO ₂ /千円】
	持続可能な資源の利用	13 気候変動に具体的な対策を	①購入品に対する環境負荷物質の含有調査の年2回実施	年2回の調査実施
S 社会	技術革新による産業発展への貢献	3 持続可能な経済の発展	①「次世代蓄電池用電極シート」の製法確立 (2025年度)	試作納入開始
	働きやすい職場環境	8 働きがいと経済成長	①健康経営優良法人(ホワイト500)の認定取得(単体) ②有給休暇取得推進:最低年間取得日数12日に引き上げ (2022年度)(単体)	健康経営優良法人2022認定 最低年間取得10日以上(達成率99.3%)
	人材育成	9 産業・科学技術イノベーションの促進	①管理監督者研修の充実:グループリーダー・課長研修の実施 ②品質管理選抜教育の実施(各部門から6カ月間専任で業務を離れ教育)	評価者研修の実施・面談スキルなど育成面を重視 (221人受講、受講率100%) 8人の教育実施(6カ月間の教育+実践活動)
	ダイバーシティ・インクルージョン	11 持続可能な都市とコミュニティ	①女性管理職比率:7%以上(2023年度)(単体) ②障がい者雇用率:法定雇用率以上(2022年度法定雇用率:2.3%)(単体)	5.3%(2020年度:4.9%) 2.71%(2020年度:2.45%)
G ガバナンス	コーポレート・ガバナンス	16 公正な社会と法の支配	①取締役会実効性評価の実施による機能強化:第三者視点を取り入れた実効性評価の実施(2022年度) ②役員トレーニングの実施:実施率100%(取締役・監査役の業務に必要な知識の習得)	取締役会実効性評価の実施と課題への対応 実施率:100%(カーボンニュートラルに関するWEB講座受講・レポート提出)
	コンプライアンス		①行動基準理解度チェックの100%実施(国内連結)	実施率:100%
	リスクマネジメント		①内部統制(J-SOX)不備や指摘事項の件数削減:残存件数10件以下(2022年度) ②CSR調達ガイドラインに基づく調査実施	残存件数:27件(2020年度86件) 前回2019年度実施(定期的に実施)

連結貸借対照表

科 目		前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部	流動資産	85,928	92,522
	固定資産	80,227	81,256
	有形固定資産	57,291	58,086
	無形固定資産	11,497	11,171
	投資その他の資産	11,439	11,998
	資産合計	166,155	173,778
負債の部	流動負債	65,414	69,184
	固定負債	32,045	32,758
	負債合計	97,460	101,942
純資産の部	株主資本	58,534	55,472
	資本金	8,413	8,413
	資本剰余金	13,114	13,114
	利益剰余金	37,567	34,379
	自己株式	△ 560	△ 434
	その他の包括利益累計額合計	1,805	7,198
	その他有価証券評価差額金	981	782
	為替換算調整勘定	906	6,435
	退職給付に係る調整累計額	△ 82	△ 20
	非支配株主持分	8,355	9,164
	純資産合計	68,695	71,836
	負債純資産合計	166,155	173,778

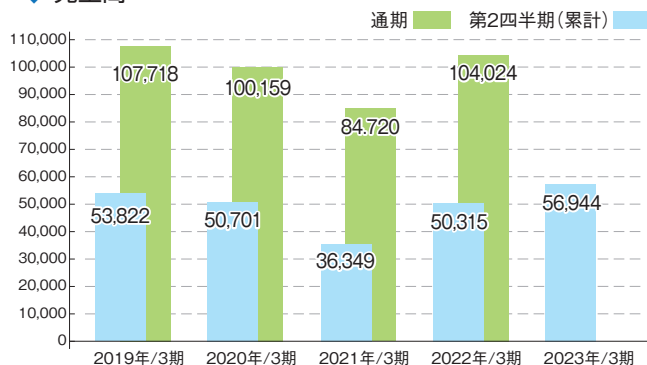
連結損益計算書

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (2021年4月1日～ 2021年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2022年4月1日～ 2022年9月30日)
売上高	50,315	56,944
売上原価	36,868	44,544
売上総利益	13,447	12,400
販売費及び一般管理費	10,769	11,735
営業利益	2,677	664
営業外収益	310	748
営業外費用	386	471
経常利益	2,602	941
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	2,602	△ 1,021
法人税、住民税及び事業税	1,256	767
法人税等調整額	△ 187	460
非支配株主に帰属する四半期純利益	344	225
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,188	△ 2,475

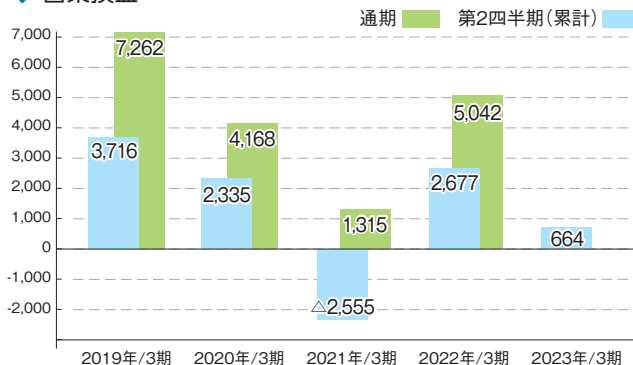
連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (2021年4月1日～2021年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2022年4月1日～2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,256	△ 1,269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,150	△ 2,658
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,415	632
現金及び現金同等物に係る換算差額	381	1,186
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,070	△ 2,108
現金及び現金同等物の期首残高	18,637	18,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,708	16,760

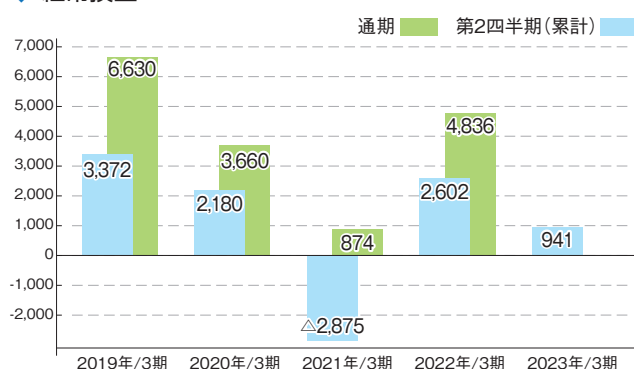
❖ 売上高



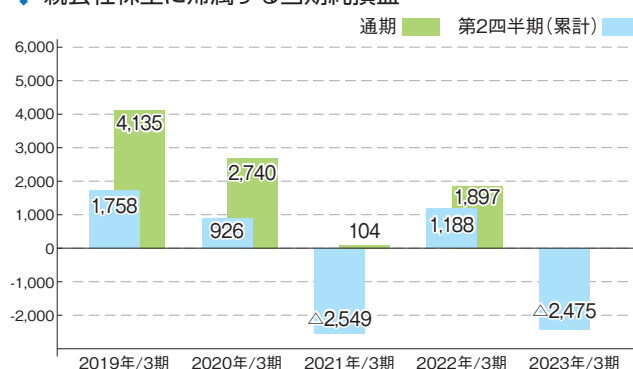
❖ 営業損益



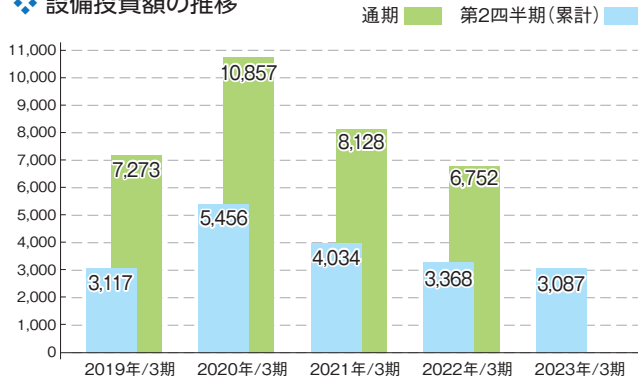
❖ 経常損益



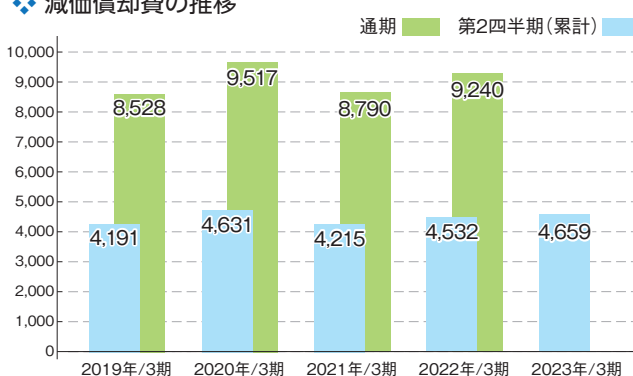
❖ 親会社株主に帰属する当期純損益



❖ 設備投資額の推移



❖ 減価償却費の推移



会社概要

(2022年9月30日現在)

設立	1939 年（昭和 14 年）11 月 4 日		
資本金	8,413 百万円		
従業員数	連結 7,013 名／個別 1,380 名		
事業内容	●自動車用エンジン軸受 自動車(乗用車・トラック・レーシングカー)エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機(ターボチャージャー・バルンサー機構)用軸受など ●自動車用エンジン以外軸受 自動車部品(トランスミッション、ショックアブソーバー、空調用コンプレッサー、ステアリング)用軸受など ●非自動車用軸受 低速(2サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、中高速(4サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、発電(水車・タービン等)用軸受、産業用(コンプレッサー・増減速機等)軸受など ●自動車用軸受以外部品 自動車用エンジンやトランスミッション周辺の高精度・高品質部品(曲げパイプ、ノックピン、NC切削品等)、自動車用アルミダイカスト製品など ●その他 電気二重層キャパシタ用電極シート事業、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、吸音板(カルム)、不動産賃貸事業など		

本社	名古屋本社 〒460-0008	名古屋市中区栄二丁目 3 番 1 号 名古屋広小路ビルディング 13 階
	東京本社 〒140-0002	東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー17階
国内生産拠点	犬山工場（犬山事業所内） 前原工場（犬山事業所内） バイメタル製造所（犬山事業所内） 岐阜工場 TMB5 工場（犬山事業所内） TMB5 =ターボマシナリーベアリングシステム（回転機械用軸受）	
国内販売拠点	東京支店、名古屋支店、大阪支店、北関東営業所、浜松営業所、広島営業所、九州営業所	

関係会社	●国 内 大同ブレーンベアリング株式会社、エヌデーシー株式会社、大同インダストリアルベアリングジャパン株式会社、大同メタル佐賀株式会社、大同メタル販売株式会社、エヌデーシー販売株式会社、大同ロジテック株式会社、株式会社アジアケルメット製作所、株式会社飯野製作所、ATA キャスティングテクノロジージャパン株式会社	
	●海 外 (主な拠点) 【アジア】 中原大同股份有限公司（台湾） PT. 大同メタルインドネシア（インドネシア） 同晟金属株式会社（韓国） BBL 大同プライベート LTD.（インド） ダイナメタル CO., LTD.（タイ） 韓国ドライベアリング株式会社（韓国） フィリピン飯野 Corp（フィリピン） PT. 飯野インドネシア（インドネシア） ATA キャスティングテクノロジ CO., LTD.（タイ） DM キャスティングテクノロジ（タイ） Co., Ltd.（タイ） 【中国】 大同精密金属（蘇州）有限公司 飯野（佛山）科技有限公司 広州原同貿易有限公司 【ヨーロッパ】 大同インダストリアルベアリングヨーロッパ LTD.（英国） 大同メタルチェコ s.r.o.（チェコ） 大同メタルコート AD（モンテネグロ） 大同メタルヨーロッパ LTD.（英国） 大同メタルヨーロッパ GmbH（ドイツ） 大同メタルロシア LLC（ロシア） 【北米】 大同メタル U.S.A. INC.（米国） 大同メタルメキシコ S.A. DE C.V.（メキシコ） 大同メタルメキシコ販売 S.A. DE C.V.（メキシコ） ISS アメリカ INC.（米国） ISS メキシコマニファクチャリング S.A. DE C.V.（メキシコ）	

役員

(2022年9月30日現在)

【取締役及び監査役】

代表取締役会長 兼最高経営責任者	判 治 誠 吾
代表取締役社長 兼最高執行責任者	三 代 元 之
取締役 常務執行役員	佐 藤 善 昭
取締役 常務執行役員	墓 越 繁 昌
取締役 常務執行役員	吉 田 有 宏
☆ 取締役	武 井 敏 一
☆ 取締役	星 長 清 隆
☆ 取締役	白 井 美 由 里
常 勤 監 査 役	玉 谷 昌 明
☆ 監 査 役	田 辺 邦 子
☆ 監 査 役	松 田 和 雄

【注】 ☆印は会社法に定める社外取締役及び社外監査役であります。

【執行役員（格も含む）】

常務執行役員	古 川 智 充
常務執行役員	平 松 伸 隆
上 席 執行役員	正 田 健 二
上 席 執行役員	川 瀨 晃 誠
上 席 執行役員	渡 部 啓 貴
執行役員	伊 藤 島 尚
執行役員	小 林 雅 敦
執行役員	中 野 志 裕
執行役員	立 木 志 津 夫
執行役員	浅 野 利 文
執行役員	市 橋 直 一
執行役員	栗 田 幸 樹
執行役員	籠 原 主 彦
執行役員	川 原 幸 主
執行役員	落 合 輝 弘
執行役員	岩 倉 重 記
執行役員	土 屋 重 人
執行役員	片 桐 武 司
執行役員	ティム アレン

株式事項 (2022年9月30日現在)

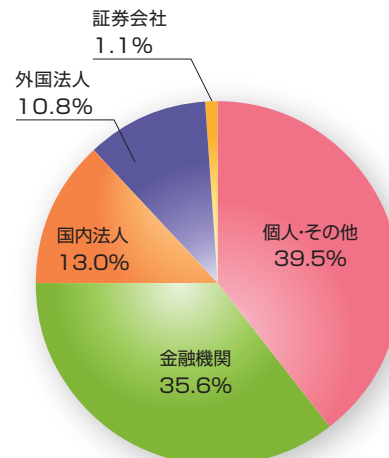
❖ 株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000 株
 発行済株式の総数 47,520,253 株 (自己株式 1,436 株を含む)
 株 主 数 14,848 名

❖ 大株主

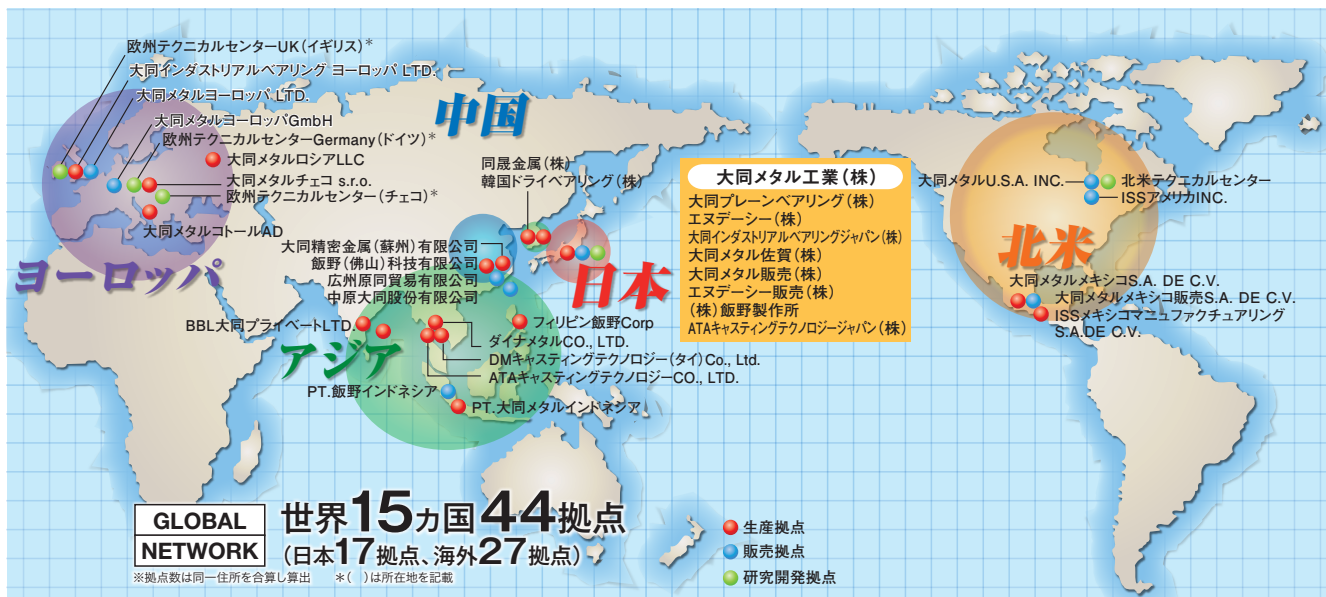
株 主 名	持株数 (千株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,951
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,047
三井住友信託銀行株式会社	1,978
株式会社みずほ銀行	1,977
株式会社三菱 UFJ銀行	1,822
大同メタル友栄会持株会	1,732
大同メタル従業員持株会	1,622
東京海上日動火災保険株式会社	1,107
THE SERI WATHANA INDUSTRY CO.,LTD 703000	1,000
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	886

❖ 所有者別株式保有状況



グローバルネットワーク (主な拠点)

(2022年9月30日現在)



事業年度	毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年 6 月	特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会：毎年 3 月 31 日 期 末 配 当：毎年 3 月 31 日 中 間 配 当：毎年 9 月 30 日	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。
単元株式数	100 株		
公告方法	電子公告の方法により、当社のホームページ (http://www.daidometal.com/)に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。		
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場、名古屋証券取引所プレミア市場		

株式に関する諸手続きのご案内

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社

- | | |
|---|--|
| 1 株式事務に関するご質問 (フリーダイヤル)
0120-782-031 [受付時間：平日 9:00～17:00] | 2 インターネットによる株式に関する諸手続きのご案内
三井住友信託銀行： https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/ |
|---|--|

株主優待

株主優待制度の概要

- 株主優待の対象となる株主様
毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された、500株以上を保有の株主様。
- 株主優待の内容
毎年3月31日現在の保有株式数と継続保有期間に応じて、クオカードを年1回贈呈。
- 株主優待の贈呈時期
対象株主様には、定時株主総会終了後の6月下旬に報告書等とともに発送いたします。

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
500 株以上～1,000 株未満	クオカード 1,000 円分	クオカード 2,000 円分
1,000 株以上～5,000 株未満	クオカード 1,500 円分	クオカード 2,500 円分
5,000 株以上	クオカード 2,000 円分	クオカード 3,000 円分

※「継続保有期間3年以上」とは、毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録され、かつ3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で、500株以上の保有が7回以上連続で記載または記録された株主様といたします。

将来に関する事項につきましては、現在において当社グループが判断した一定の前提に基づいたものであります。
これらの記載は実際の結果とは異なる可能性があり、その達成を保证するものではありません。

IR専用サイトURL

<https://www.ir.daidometal.com/>



大同メタル工業株式会社



<https://www.daidometal.com/>



環境に配慮した
「植物油インキ」を
使用しています。



適切に管理された森林で
生産されたことを示す「FSC®」
認証紙を使用しています。